

今年、は桜の開花が早くやっつて来ました。

まだまだコロナに油断はできませんが、野山はもう春の装いを始めています。

## デイサービス八重桜本店

【年を重ねても楽しいひな祭り】



灯りをつけましょぼんぼりに〜年を重ねても、女性にとつて桃の節句は心ウキウキする日ですね。八重桜本店では恒例のひな祭りを今年も開催しました。

手始めはひな祭りクイズです。即答してください。答えを聞いてなるほどと感心される方の中には「知識が一つ増えた!!」と言う職員もいました。クイズの後は、職員が持参したお雛様を皆さまに見ていただきながら、全員でひな祭りの歌を合唱しました。その後、ご利用者さまには、男雛様と女雛様のパネル(職員が手作りしました)からお顔を出して頂いてハイチーズ!職員と一緒に撮りたいと言ってくれる女性ご利用者さまや、男雛様役を引き受けてくださった男性のご利用者さまは、何人も女性ご利用者さまと写真を撮られてちょっと嬉しそう、男性も女性も笑いっぱいひな祭りでした。

【今月はお返しホワイトデー】

今月はバレンタインデーのお返しで、女性のご利用者さまにホワイトデーのイベントを楽しんでいただきました。この日もチョココレートの小袋を入れた大きな箱を用意し、女性のご利用者さまにチョコの掴み取りをしていただきました。手からこぼれ落ちるほどの沢山のチョコを掴まれる方遠慮しがちに2・3個しか取られない方、取ったその場でチョコをほおぼる方々、隣のご利用者さまと笑いながらお互いのお菓子を見せ合いっこされるなど様々です。和気あいあいとした雰囲気になりました。にこやかな表情を写真におさめました。最後は男性のご利用者さまにもご参加いただき、通所の方にはその場で食べきれないチョココレートは袋に入れてお持ち帰りいただきました。笑い声の絶えない楽しい時間を皆さまに過ごしていただきました。



## SDGsと八重桜

西 勝康

昨今、SDGsという言葉が耳にするが増えていると思います。これは国連サミットにて一九三の国連加盟国の間で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている二〇三〇年までの国際開発目標です。「世界を変えるための十七の目標」により構成され、地球上の誰一人として取り残されないことを誓っています。

## 桜の広場

これらの十七の目標のうち、現在すでに八重桜が特に関わる目標は、

- ① 貧困をなくそう
  - ⑩ 人や国の不平等をなくそう
- の二つです。

私たちは「介護」を事業活動の中心に据えて展開しています。現在六か所の有料老人ホーム並びに各併設デイサービスを中心に二百人の雇用を創り出し、希望者は原則社員採用しています。それは取りも直さず雇用の安定化による生活の安定を考へてのことです。これは①の貧困をなくそうという目標に促しています。

更に有料老人ホームの入居に関しては、入居を希望される要介護高齢者には所得に応じた独自の料金制度を採用して同業他社と比しても数段の低料金を実現しています。そうすることで低所得高齢者の方でも施設入居を可能にしています。これは⑩の人や国の不平等をなくそうという目標に対応しています。

これら二つに関してはSDGsの採択とは別に以前から取り組んで来ていて、たまたま合致していることで私たちが取り組んできたことが評価されているよううれしく思います。

今後とも新規施設の増設計画がありますので、更に二つの目標に向かって邁進したいと思います。

# デイサービス八重桜 平城

## 【三月の御誕生日会】



三月は、九人ものご利用者さまがお誕生日を迎えられました。テイルームで、他の皆さまの拍手の中、勢ぞろいされた九名様お一人一人に、スタッフからお祝いの色紙をお渡しさせていただきました。スタッフ手作りの色紙には、桜の花びらをバックにご自身のお写真が添えられ、折り紙でかたどったチューリップの花が可愛く咲いています。桜は「和の心」、チューリップは「誠実」「芽生え」が花言葉で、スタッフと皆さまとの絆、新しい明日にふさわしいですね。「有難つ」の一言と笑顔で喜びを表しておられる方やガッツポーズで意欲满满の方、そして普段は寡黙な方が、過去を振り返り感無量になりつつも、将来を前向きに淡々と語っておられるお姿は印象的でした。「ハッピーバースデー」の合唱に引き続いてのコーヒーとケーキのひとときでは、喜びの会話ははずみます。御誕生日のお祝いが、過去の思い出と共に将来を前向きに捉えさせてくれる、という有意義さを改めて感じ取ることが出来ました。

## 【タケノコ狩り】

春の味覚のひとつにタケノコが思い浮かびます。漢字では「筍」と書き十日前後という旬(いっしょゆひ)の期間で竹に成長するという由来があるそうです。皆さま、レクでこの春の味覚の「収穫」を楽しみました。絵を貼ってタケノコに見立てた紙コップを、同じ大きさの紙コップで作った取り棒で真上からかかかせて収穫し、制限時間内に、どんどん積み重ねていきます。タケノコのコップの内側の底には、それぞれ点数が記してあり、収穫した数にかかわらず、合計点数で勝負が決まります。限られた時間で、同じ大きさのコップを真上から積み重ねる作業は、タケノコを掘り起こすかの如く、落ち着いて手際良く、「巧速」でも「拙速」でもなく「巧速」で行うコツが必要です。ちなみに、竹は長寿や友情の象徴とも言われ、このタケノコ狩りも、皆さまのご健康と相互の絆を願う縁起の良いイベントとなりました。皆さま、春の到来を待ち望むかの様に楽しんでいました。



# デイサービス八重桜 西奈良

## 【私たちは可愛いお雛様】



昔から女の子のためのイベント言えば、そう「ひな祭り」ですよ。家に雛人形を飾っていたご家庭も少なくないのでは？西奈良館の初めてのひな祭りは、雛人形の代わりにご利用者さまに男雛・女雛の顔出しパネルを作ってもらい、それを使って写真撮影会を行いました。我先にと立候補される方がおられて、思い思いの方とペアで写真をパシャリ。写真撮影を終えられた方は皆さま満足げな表情をされており、どんな写真になったか早く見せて欲しいとおっしゃっていました。職員も最初は皆さまがどのくらい積極的に参加してくださるのか、少しドキドキしていましたが、皆さまが楽しんでくださったことにホッとしました。今回使用した顔出しパネルは、もちろん来年にも使用できるように大事に保管しています。

## 【ホワイトデーONステージ】

西奈良館では、三月十四日にホワイトデーのイベントをさせていただきました。オープニングは、職員によるウクレレ演奏から始まり、盛り上がり始めたところで職員たちの変装カラオケステージです。これで一気に大盛り上がりし最高潮を迎えました。その後、女性のご利用者さまには変装した男性職員からのプレゼントで喜んでいただきました。この日のおやつは、施設長手作りの、イチゴとみかんとバナナと一口チョコをロールケーキの上に乘せたおやつです。皆さまに召し上がっていただき、大変喜んでいただきました。この日のホワイトデーは、ご利用者さまには笑いの絶えない時間を過ごしていただき、プレゼントをお渡しした後、皆さまと記念撮影をして楽しい一日を締めくくりました。



## こころの遊歩道

### 「長寿の心得

人生は六十から」

七十才でお迎える来た時は

何の事じゃ留守と云え

八十才でお迎える来た時は

まだまだ早いと云え

九十才でお迎える来た時は

そう急がずともよいと云え

百才でお迎える来た時は

頃を見てこちらからボツボツ行くと云え



## デイサービス八重桜 朱雀

【今日は男性からのホワイトデー】



今日は、バレンタインデーのお返しとして定着しているホワイトデーです。そんなイベントとして、男性ご利用者さまから女性ご利用者さまへの感謝の気持ちを表しました。プレゼントは可愛いチョコレートに歯ブラシです。皆さまと色々考えましたが、実用的な使い道を考慮した結果この組み合わせになりました。女性ご利用者さまに前に並んでいたとき、男性のご利用者さまから各々プレゼントを渡していただきました。可愛い袋に入ったチョコレートと歯ブラシ、何となくお互いに気恥しい気持ちになりました。特に男性は改まって感謝の気持ちを表すのが苦手なようで、無言で手渡す方もチラホラ。それでも女性のご利用者さまから「ありがとう」と言われると笑顔になります。こうして一通り済む頃には、あちこちで賑やかな話し声がフロアに響き渡りました。

【皆さまがお内裏様とお雛様に】

今日は、春の訪れを感じさせる気持ちの良い日です。朱雀館では賑やかに雛祭りを開催いたしました。祭りの目玉は、お内裏様の衣装を身に纏った写真撮影です。本格的とはいかないまでも、スタッフの用意した可愛い着物が揃いました。最初は少し緊張気味だったご利用者さまも徐々に表情も和らぎ、素敵なお内裏様に変身。そうなるにつれ希望者の行列が出来て大盛況になりました。ピースサインで笑顔、腕を組んで笑顔等、色々な表情で満悦です。そして、その横では皆さまと桜餅作りの作業が始まりました。餡を練りこんでお餅を丸め最後に桜の葉で包むこの過程もご利用者さまと一緒に楽しく作業しました。全員の写真撮影も終わり、最後はお茶と桜餅で素敵なお雛祭りは閉幕。とても楽しい思い出に残る一日となりました。



## デイサービス八重桜 押熊

【ひな祭りランチ】



押熊館では、三月三日にひな祭りランチを楽しみました。ひな祭りのランチはちらし寿司を作りました。ちらし寿司のもとを購入し、錦糸卵の上に桜の花びらのようにピンク色の桜でんぶを上に散らし、見た目にも美味しく仕上げました。またひな祭りの雰囲気を感じ上げるために、お食事の前に歌詞カードを配り、職員のキーボード演奏による「うれしいひな祭り」をご利用者さまと一緒に合唱しました。幼い頃を懐かしむ声があちこちから聞こえてきます。ちよつとつともとは違ってお昼ご飯に、ご利用者さまから歓声があがり、「美味しい、美味しい」の声が聞こえてきました。今日は舌で少し早い春を感じていただきました。

【満開の桜（工作の日）】

日に日に春の訪れを感じる今日この頃ですが、押熊館では一足早く桜の花が満開となりました。雪置ほどの大きさの大作ですので、いろんなパーツに分けて仕上げしていきます。まずは桜の花びらから。数が沢山あるのでご利用者さまにもいろいろなお手伝いをしていただきます。花びらを広げ膨らみを豊かに仕上げっていきます。次は幹の部分やその周辺です。ちぎり絵風に少しずつ余白を埋めていきます。最後に花を一輪一輪ご利用者さまに桜の木に貼っていただきます。白っぽい色から濃いピンクまで色とりどりに木々が賑わいを見せはじめます。全部埋まる頃には部屋中が春色に包まれて、ご利用者さまの顔も春色の笑顔に包まれるのでした。



馳せ走る 食の匠  
のひとりごと

### 引き算の美学

西 勝康

時々食べに行くお店があります。基本的には日本料理店ですが、お座付き(付きだし)に菓子のようなものが出て、そして大盤に幾種もの小鉢盛りの前菜が盆景仕立てに賑々しく出されます。その後五品ほど続き、ご飯のあとスイーツで締めとなります。間違いなく女性のお客さまに照準を合わせた演出だなと感じます。総じて「足し算の料理」かなと。

個人的には、日本料理は素材から苦味やえぐみ、臭みなど余計なものを取り除き、素材本来の持つ旨さを際立たせる「引き算の料理」と考えています。同様に、少ない文字数で想いを読み手の想像力に委ねる「短歌」「俳句」や、どこまでも簡略化し余白を生かそうとする「枯山水」「茶道」の侘び、寂びなどの思想も日本人が大切にしてきた引き算の美学といえるでしょう。

「サマーソニックを待ちわびて」

神永 恭平



西奈良館のオープンと同時に入職し、早くも半年が過ぎました。今では西奈良館のコスプレ担当として日々の業務に励んでいる神永です。

前職は特養で七年近く働いてはきましたが、環境が変わった事で「介護って奥が深いな」と考えさせられます。ですが、優しい職員に囲まれて充実して仕事が出来ていると実感しています。

私は洋楽のロックが好きで、毎年サマーソニックに行くことが楽しみでした。ただ、新型コロナウイルスの世界的な流行があり、昨年は開催すらされず非常にショックを受けました。サマーソニックの為に一年間頑張ってきたのにと。FIGHTERSやNickel Backをかなり前で見られた時の感動たるや…。思い出すだけで興奮します。今年はまだ開催が難しいとは思いますが、来年行けるようになれば嬉しいなと期待しています。二年間溜めに溜めた欲望を早く発散したいです。次に開催される時はHooobastankがもう一度サマーソニックに来てくれますように。その時は絶対に最前列に攻め込もうと思います。

俳句教室発表句 (敬称を略します)

桜見る 今年もドライブ 楽しみだ

深井 ちえ子

皆さまと一緒に桜見行きたいですね

桜もち 今年は何個 食えるかな

田中 弘子

桜餅本当に美味しいですね

里山に 顔出したるや つくしんぼ

大城 聖三

もう出ているでしょうか？ まちどういいですね。

桃の花 待ちくたびれて 昼寝する

岡 みよ子

「三寒四温」すぐには暖かくなりません

竹の皮 一枚むいて 母のかお

米川 俊子

優しいお母さんを思い出しましたか

芽を出した ちよっぴり苦い ふきのとう

吉仲 はつ江

春の野草はほろ苦く美味しいですね

春の今 自分自身 ここもい

小谷 恒子

ほかの方々も涙ぐみ、皆で助けあって行きましよう(拍手あり)

八重の家通信 11

日本列島各地で、桜の開花の便りが聞かれる季節になりました。

庭園の八重桜の蕾も膨らみ始めました。昨年三月にオープンいたしましたL・ファミリーモア八重桜の「レストラン桜」も、一周年を迎えることが出来ました。スタッフ一同お礼を申し上げます。

職員からのメッセージ  
出口義隆

レストラン桜では月曜日、水曜日、金曜日の昼食の松花堂弁当と、それ以外の曜日の昼食は日変わりメニューを提供しております。また、夕食は焼き物、天婦羅、鍋物、麺類、粉もの、などと、バラエティに富んだメニューで、お楽しみいただくと、工夫させていただいております。

これからも二十一世紀高齢者社会を「食」で皆さまのお役に立てるよう心を込めた料理の提供に努めてまいります。今後、新しいメニューにも挑戦し健康な食生活を送っていたできるように頑張っております。

杉山 元

昨年五月に(株)八重桜に入社し、入居者様の食生活のサポートをさせて頂いております。前職での料理経験を生かして、メニュー作りを他のメンバーと一緒に考えております。

いかに、美味しく、目を楽しませながら、召し上がっていただける内容にの思いでがんばっております。これからどうぞよろしく願っています。

森村正子

L・ファミリーモア八重の家の調理スタッフになりましたもう少少で一年になります。

最初は、皆さまのお顔とお名前を覚えるのに苦労いたしました。今では毎日お顔を見るのが楽しみになりました。皆さまをお父さん、お母さんと思ひ働かせてもらい、料理には母の味を思い出して、春夏秋冬と季節を感じられる楽しい食事を作り、皆さまに「美味しいね」「家庭の味」といっていただけるように頑張りたいと思います。